

なかみねたに  
**中峰谷第一砂防ダム事業**

受賞機関 国土交通省中部地方整備局 多治見工事事務所

### はじめに

本事業は、美濃焼で有名な陶磁器の産地、岐阜県多治見市市之倉町で実施された、住民参加型、地域支援型の砂防事業である。砂防ダム建設に際し、焼き物を中心とした街づくりを進める地元住民とともに外観形状や地域への貢献について検討した結果、人々に親しまれる温もりのあるデザインと陶磁器作品が展示できるギャラリー機能を備えた仕組みがアイデアとして提案され、これらを反映した設計、工事を実施した。



中峰谷第一砂防ダム全景

### 事業の概要

ダム名：中峰谷第一砂防ダム  
 (通称 = 市之倉おりべ砂防ダム)

ダム形式：重力式コンクリート砂防ダム  
 (一部スリット式)

計画貯砂量：38,000 m<sup>3</sup>

計画堆砂勾配：1/38 (現況河床勾配 1/19)

主ダム：高さ11.5m 長さ69.0m 幅3.0m  
 体積約3,300 m<sup>3</sup>

副ダム：高さ4.0m 長さ22.0m 幅3.0m  
 体積約300 m<sup>3</sup>

施工期間：平成11年8月24日～平成12年10月30日

### 事業の特徴

本事業は、通常、土砂災害を防ぐだけで人々に親しまれることの少ない砂防ダムについて、地域住民と知恵を出し合うことによって、地域活性化を支援する機能を持ちながらデザイン的にも優れた砂防ダムが実現できたものである。すなわち、砂防ダム天端に思い切ったフリーハンドの曲線を採用するとともに、景観上単調となる本堤下流法面には、陶磁器作品展示用のブースを設けている。また、砂防ダム周辺の公園的な整備や散策路整備などは多治見市が行うとともに、照明の整備と公園管理は地元が行うなど、地域との深い連携の上に成立した事業となっている。



展示ブースに置かれた作品



作品展示

人の温もりを感じさせるやわらかな曲線については、戦国時代の岐阜県出身の茶人、古田織部が提唱した「非対称、ゆらぎ、個性、自由」などのオリベイズムと言われる理念を取り入れている。織部が指導した織部焼きは、この地域の代表的な焼き物の一つであり、市之倉町は街づくりとして「オリベストリート構想」を打ち出している。また、本堤下流法面には比較的工費の安い「洗い出し工法」によって曲線模様を描き、壁面におもしろさを加えた。

作品展示用ブースは、法面下部の目の高さに、高さ2mと1mの楕円形のへこみを10基設けたもので、比較的大きな作品の展示を想定している。その下部には窯に用いられるレンガを積み上げ、安心感を与えるデザインとした。

完成式の際には、地元で活躍している人間国宝加藤卓男さんの作品を始め地元有名作家の作品がブースを飾り、壮観であった。現在は、若手作家の作品が常時展示され、訪れた人の目を楽しませている。